

(別添 1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 加茂川水系加茂川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	加茂川水系加茂川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する加茂川水系加茂川の河道内の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：三重県鳥羽市鳥羽3丁目～松尾町地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度 (5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)	令和2年度	1,700 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	3,100 m3		
	令和4年度	2,400 m3		
	令和5年度	4,700 m3		
	令和6年度	5,100 m3		
	計	17,000 m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	16,000	16,000	0
	令和3年度	31,800	31,800	0
	令和4年度	26,000	26,000	0
	令和5年度	38,000	38,000	0
	令和6年度	60,000	60,000	0
	計	171,800	171,800	0
事業の必要性、 緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加茂川水系加茂川は、三重県の中勢地域に位置し、流路延長約9kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。</li> <li>・加茂川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。</li> <li>・令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は約7千m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。</li> </ul>			
浚渫目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度～令和6年度の5年間で、外湾漁協 (牡蠣養殖者) 等に配慮しつつ約14千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。</li> </ul>			
河道の状態把握	<p>加茂川は、中流部に岩倉雨量水位観測所 (鳥羽市岩倉) において、雨量、水位の常時観測が行われており同観測所から水防活動等のデータを得ることができる。また、河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。</p>			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善などの方針等について、可能な範囲で記載	<p>予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。掘削した土砂等については、民間公募により処分先を決定する予定。</p>			

(別添 1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 加茂川水系白木川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	加茂川水系白木川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する加茂川水系白木川の河道内の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：三重県鳥羽市白木町地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度 (5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)	令和2年度	60 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0 m3		
	令和4年度	70 m3		
	令和5年度	150 m3		
	令和6年度	220 m3		
	計	500 m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	1,600	1,600	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	2,000	2,000	0
	令和5年度	2,000	2,000	0
	令和6年度	1,400	1,400	0
	計	7,000	7,000	0
事業の必要性、 緊急性	・加茂川水系白木川は、三重県の中勢地域に位置し、流路延長約2kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・白木川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は約4百m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和6年度の5年間で、外湾漁協等に配慮しつつ約5百m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	白木川は、本川加茂川に岩倉雨量水位観測所 (鳥羽市岩倉) において、雨量、水位の常時観測が行われている。また、河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載				

(別添 1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 加茂川水系落口川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	加茂川水系落口川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する加茂川水系落口川の河道内の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：三重県鳥羽市船津町地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和5年度～令和6年度 (2年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0 m3		
	令和4年度	0 m3		
	令和5年度	0 m3		
	令和6年度	500 m3		
	計	500 m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	5,000	5,000	0
	計	5,000	5,000	0
事業の必要性、 緊急性	・加茂川水系落口川は、三重県の中勢地域に位置し、流路延長約0.7kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・落口川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は約1千m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。			
浚渫目標	・令和5年度～令和6年度の2年間で、外湾漁協等に配慮しつつ約1千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	落口川は、本川加茂川川に岩倉雨量水位観測所 (鳥羽市岩倉) において、雨量、水位の常時観測が行われている。また、河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。掘削した土砂等については、民間公募により処分先を決定する予定。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 加茂川水系鳥羽河内川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	加茂川水系鳥羽河内川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する加茂川水系鳥羽河内川の河道内の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：三重県鳥羽市岩倉町～河内町地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和4年度～令和6年度 (3年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0 m3		
	令和4年度	440 m3		
	令和5年度	500 m3		
	令和6年度	1,120 m3		
	計	2,060 m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	5,000	5,000	0
	令和5年度	3,000	3,000	0
	令和6年度	5,000	5,000	0
	計	13,000	13,000	0
事業の必要性、 緊急性	・加茂川水系鳥羽河内川は、三重県の中勢地域に位置し、流路延長約4.5kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・鳥羽河内川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は約2千m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和10年度に供用開始予定である鳥羽河内ダム事業 (計画洪水流量W=1/20) に併せて、下流域のネック点を解消する必要がある。			
浚渫目標	・令和4年度～令和6年度の3年間で、外湾漁協等に配慮しつつ約2千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	・鳥羽河内川は、本川加茂川の岩倉雨量水位観測所 (鳥羽市岩倉町) 及び鳥羽河内川の河内雨量水位観測所 (鳥羽市河内町) において、雨量、水位の常時観測が行われている。また、河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、1回/年程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。掘削した土砂等については、民間公募により処分先を決定する予定。			

(別添 1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 三重県 又は 市区町村名		
		河川名 紙漣川水系紙漣川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	紙漣川水系紙漣川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する紙漣川水系紙漣川の河道内の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：三重県鳥羽市堅上町地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度 (5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	150 m3		
	令和4年度	310 m3		
	令和5年度	0 m3		
	令和6年度	0 m3		
	計	460 m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	1,500	1,500	0
	令和4年度	10,000	10,000	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	11,500	11,500	0
事業の必要性、 緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙漣川水系紙漣川は、三重県の中勢地域に位置し、流路延長約0.6kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。</li> <li>紙漣川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。</li> <li>令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は撤去済みであるが、定期的な維持管理が必要である。</li> </ul>			
浚渫目標	令和3年度～令和4年度の2年間で、外湾漁協 (海苔養殖者) 等に配慮しつつ約500m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	紙漣川は、近隣に安楽島雨量水位観測所 (鳥羽市安楽島) において、雨量の常時観測が行われており同観測所から水防活動等のデータを得ることができる。また、河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 掘削した土砂等については、民間公募により処分先を決定する予定。			

(別添 1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 堀通川水系堀通川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	堀通川水系堀通川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する堀通川水系堀通川の河道内の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：三重県鳥羽市堅上町地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和5年度～令和6年度 (2年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0 m3		
	令和4年度	0 m3		
	令和5年度	540 m3		
	令和6年度	0 m3		
	計	540 m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	11,000	11,000	0
	令和6年度	0	0	0
	計	11,000	11,000	0
事業の必要性、 緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>堀通川水系堀通川は、三重県の中勢地域に位置し、流路延長約0.6kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。</li> <li>堀通川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。</li> <li>令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は約1千m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。</li> </ul>			
浚渫目標	令和5年度～令和6年度の2年間で、外湾漁協 (海苔養殖者) 等に配慮しつつ約1千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	堀通川は、近隣に安楽島雨量水位観測所 (鳥羽市安楽島) において、雨量の常時観測が行われており同観測所から水防活動等のデータを得ることができる。また、河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。掘削した土砂等については、民間公募により処分先を決定する予定。			

(別添 1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 三重県 又は 市区町村名		
		河川名 磯部川水系磯部川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	磯部川水系磯部川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する磯部川水系磯部川の河道内の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：三重県志摩市磯部下之郷町～恵利原地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度 (5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)	令和2年度	200 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	1,300 m3		
	令和4年度	640 m3		
	令和5年度	1,000 m3		
	令和6年度	860 m3		
	計	4,000 m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	2,600	2,600	0
	令和3年度	19,500	19,500	0
	令和4年度	8,000	8,000	0
	令和5年度	18,000	18,000	0
	令和6年度	5,000	5,000	0
	計	53,100	53,100	0
事業の必要性、 緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・磯部川水系磯部川は、三重県の中勢地域に位置し、流路延長約7kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。</li> <li>・磯部川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。</li> <li>・令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は約2千m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。</li> </ul>			
浚渫目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度～令和6年度の5年間で、外湾漁協、海苔養殖者等に配慮しつつ約4千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。</li> </ul>			
河道の状態把握	磯部川は、下流部に恵利原雨量水位観測所において、雨量、水位の常時観測が行われている。また、河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。掘削した土砂等については、民間公募により処分先を決定する予定。			

(別添 1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 磯部川水系野川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	磯部川水系野川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する磯部川水系野川の河道内の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：三重県志摩市磯部町下之郷～沓掛地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度 (5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)	令和2年度	720 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0 m3		
	令和4年度	0 m3		
	令和5年度	160 m3		
	令和6年度	1,620 m3		
	計	2,500 m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	8,000	8,000	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	3,000	3,000	0
	令和6年度	5,000	5,000	0
	計	16,000	16,000	0
事業の必要性、 緊急性	・磯部川水系野川は、三重県の中勢地域に位置し、流路延長約6kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・野川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は約2千m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和6年度の5年間で、外湾漁協、海苔養殖者等に配慮しつつ約2,500m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	野川は、本川磯部川に恵利原雨量水位観測所において、雨量、水位の常時観測が行われている。また、河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。掘削した土砂等については、民間公募により処分先を決定する予定。			

(別添 1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 三重県 又は 市区町村名		
		河川名 磯部川水系山田川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	磯部川水系山田川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する磯部川水系山田川の河道内の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：三重県志摩市磯部町山田地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度 (5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)	令和2年度	380 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0 m3		
	令和4年度	0 m3		
	令和5年度	0 m3		
	令和6年度	0 m3		
	計	380 m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	3,800	3,800	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	3,800	3,800	0
事業の必要性、 緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・磯部川水系山田川は、三重県の中勢地域に位置し、流路延長約3kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。</li> <li>・山田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。</li> <li>・令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は約1千m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。</li> </ul>			
浚渫目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度～令和6年度の5年間で、外湾漁協、海苔養殖者等に配慮しつつ約1千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。</li> </ul>			
河道の状態把握	山田川は、本川磯部川に恵利原雨量水位観測所において、雨量、水位の常時観測が行われている。また、河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。掘削した土砂等については、民間公募により処分先を決定する予定。			

(別添 1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 磯部川水系池田川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	磯部川水系池田川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する磯部川水系池田川の河道内の堆積土砂掘削及び伐採を行うもの。 浚渫箇所：三重県志摩市磯部町築地地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度 (5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)	令和2年度	330 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	1,500 m3		
	令和4年度	340 m3		
	令和5年度	900 m3		
	令和6年度	930 m3		
	計	4,000 m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	4,000	4,000	0
	令和3年度	13,000	13,000	0
	令和4年度	7,000	7,000	0
	令和5年度	8,000	8,000	0
	令和6年度	5,000	5,000	0
	計	37,000	37,000	0
事業の必要性、 緊急性	・磯部川水系池田川は、三重県の中勢地域に位置し、流路延長約5kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・池田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は約2千m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和6年度の5年間で、外湾漁協、海苔養殖者等に配慮しつつ約4千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	池田川は、本川磯部川に恵利原雨量水位観測所において、雨量、水位の常時観測が行われている。また、河川管理施設の異常等の把握については、定期的な年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。掘削した土砂等については、民間公募により処分先を決定する予定。			

(別添 1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 磯部川水系地蔵川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	磯部川水系地蔵川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する磯部川水系地蔵川の河道内の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：三重県志摩市磯部町山原地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和6年度 (1年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0 m3		
	令和4年度	0 m3		
	令和5年度	0 m3		
	令和6年度	1,000 m3		
	計	1,000 m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	5,000	5,000	0
	計	5,000	5,000	0
事業の必要性、 緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・磯部川水系地蔵川は、三重県の中勢地域に位置し、流路延長約3kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。</li> <li>・地蔵川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。</li> <li>・令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は約1千m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。</li> </ul>			
浚渫目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度の1年間で、外湾漁協、海苔養殖者等に配慮しつつ約1千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。</li> </ul>			
河道の状態把握	<p>地蔵川は、本川磯部川に恵利原雨量水位観測所において、雨量、水位の常時観測が行われている。また、河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。</p>			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	<p>予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。掘削した土砂等については、民間公募により処分先を決定する予定。</p>			

(別添 1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
		都道府県名 三重県 又は 市区町村名			
		河川名 磯部川水系前川 (二級河川)			
		担当課室名 河川課 河川管理班			
		連絡先 059-224-2686			
事業名	磯部川水系前川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (伐木、浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する磯部川水系前川の河道内の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：三重県志摩市磯部町下之郷地内 【別図参照】				
実施予定期間	令和5年度～令和6年度 (2年間)			土質区分	
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土	
	令和3年度	0 m3			
	令和4年度	0 m3			
	令和5年度	0 m3			
	令和6年度	300 m3			
	計	300 m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和2年度	0	0	0	
	令和3年度	0	0	0	
	令和4年度	0	0	0	
	令和5年度	0	0	0	
	令和6年度	5,000	5,000	0	
	計	5,000	5,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・磯部川水系前川は、三重県の中勢地域に位置し、流路延長約1kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・前川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は約600m <sup>3</sup> であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和5年度～令和6年度の2年間で、外湾漁協、海苔養殖者等に配慮しつつ約600m <sup>3</sup> の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	前川は、本川磯部川に恵利原雨量水位観測所において、雨量、水位の常時観測が行われている。また、河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。掘削した土砂等については、民間公募により処分先を決定する予定。				

(別添 1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 藤谷川水系藤谷川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	藤谷川水系藤谷川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する藤谷川水系藤谷川の河道内の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：三重県志摩市磯部町の矢地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度 (5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)	令和2年度	100 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0 m3		
	令和4年度	0 m3		
	令和5年度	0 m3		
	令和6年度	0 m3		
	計	100 m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	4,000	4,000	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	4,000	4,000	0
事業の必要性、 緊急性	・藤谷川水系藤谷川は、三重県の中勢地域に位置し、流路延長約0.3kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・藤谷川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は約100m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和6年度の5年間で、外湾漁協 (牡蠣養殖者) 等に配慮しつつ約100m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	藤谷川は、下流部に矢雨量観測所において、雨量の常時観測が行われている。また、河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。掘削した土砂等については、民間公募により処分先を決定する予定。			

(別添 1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 三重県 又は 市区町村名		
		河川名 檜山路川水系檜山路川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	檜山路川水系檜山路川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する檜山路川水系檜山路川の河道内の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：三重県志摩市浜島町檜山路地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和4年度～令和6年度 (3年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	0 m3		
	令和4年度	800 m3		
	令和5年度	0 m3		
	令和6年度	0 m3		
	計	800 m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	17,000	17,000	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	17,000	17,000	0
事業の必要性、 緊急性	・檜山路川水系檜山路川は、三重県の中勢地域に位置し、流路延長約3kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・檜山路川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は約1千m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。			
浚渫目標	・令和4年度～令和6年度の3年間で、外湾漁協 (海苔養殖者) 等に配慮しつつ約1,500m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	檜山路川は、近隣の浜島雨量観測所において、雨量の常時観測が行われている。また、河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。掘削した土砂等については、民間公募により処分先を決定する予定。			

(別添 1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 西川水系奥の野川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	西川水系奥の野川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (伐木、浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する西川水系奥の野川の河道内の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：三重県志摩市阿児町鵜方地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度～令和6年度 (4年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)	令和2年度	0 m3		第二種建設発生土 又は 第三種建設発生土
	令和3年度	200 m3		
	令和4年度	0 m3		
	令和5年度	0 m3		
	令和6年度	200 m3		
	計	400 m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	4,200	4,200	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	3,600	3,600	0
	計	7,800	7,800	0
事業の必要性、 緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西川水系奥の野川は、三重県の中勢地域に位置し、流路延長約2kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。</li> <li>・奥の野川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。</li> <li>・令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は約200m3であり、早期の流下断面の確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。</li> </ul>			
浚渫目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度～令和6年度の4年間で、外湾漁協 (海苔養殖者) 等に配慮しつつ約500m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。</li> </ul>			
河道の状態把握	<p>奥の野川は、近接の恵利原雨量水位観測所において、雨量の常時観測が行われている。また、河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。</p>			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	<p>予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。掘削した土砂等については、民間公募により処分先を決定する予定。</p>			